

仙北市スーパーシティ構想のイメージ

地域の課題

【少子高齢化】

子供の数が減り、人口に占める高齢者の割合が上昇し、生産年齢人口の割合が減少。

【人口減少】

自然減、社会的減少により人口が減少し、地域コミュニティの維持が困難になる恐れ。

【基幹産業の衰退】

農業、林業、観光業等の市の基幹産業の産出額が減少し、雇用機会が減少。

地域の潜在力

【自然環境】

総面積1,093km²のうち約8割を占める森林地帯、南に広がる仙北平野の水田地帯。

【觀光資源】

角館祭りのやま行事等の伝統行事、武家屋敷、桜、田沢湖、温泉等の豊富な観光資源。

【交通網の利便性】

盛岡と秋田を結ぶ国道46号線¹の他、国道105号線²、341号線³。東京、仙台につながる「秋田新幹線」⁴。

これまでの取り組みを活かして

◆スマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクト

農業IoT、自動運転、ドローン等のスマートシティでの実証実験の深度化と社会実装化に向けた推進。

◆近未来技術実証特区

仙北市近未来技術実証ワンストップセンターを軸に、規制緩和を積極的に活用しつつ、有力企業を巻き込んだ先端サービス開発・実証・実用化のサイクルを形成。

◆ S D G s 未来都市

経済、社会、環境の三側面から、すべての市民が健やかに安心して暮らせる、持続可能な中間山地版スーパーシティのモデル構築。



近未来技術の中長期的な適用と汎用技術の新たな組合せによる
新しい生活様式に合わせた市民サービスの実装化

各先端的サービスの分野の取組イメージ

①移動

簡易版MaaS、雪道の自動運転等、高齢者にも配慮し、市民も観光客もより便利に移動できる手段の実現。



②農業

市場ニーズを捉えた上で、生産性を高め、次世代にノウハウを継承できる農業の実現。



③防災

デジタル防災無線、雪害や獣害を含む自然災害の対応等で、安全安心、かつ、自然と調和した雪国の暮らし。



④観光

ワーケーション等、新たな滞在型観光のスタイルを実現し、アフターコロナを見据えたインバウンドにも対応。



⑤エネルギー

玉川温泉水からの水素生成と利用を通じて、低炭素社会実現に貢献する新エネルギーの利活用の推進。



スマートシティモデル事業

近未来技術実証特区

SDGs 未来都市

⑥環境

食品ロスの削減、廃棄物のリサイクル向上、田沢湖の水質改善により環境負荷を減らした持続可能な都市の実現。



⑦物流

貨客混合、物流MaaS等による農産物の最適輸送や、水素ドローンによる中山間地への途切れない物流。



⑧医療介護

温泉を活かしたヘルスケアプログラムの推進や、個人個人を配慮した処方薬等のサプライチェーン、遠隔医療。



⑨教育

子供から高齢者まで、より多様でより発展的な次世代型の教育環境の実現。



⑩行政手続き・決済

アフターコロナ・少子高齢社会を合わせた時間や場所に捉われない、市民に寄り添った行政手続きの推進。

市民情報

